

* 本プレスリリースは Bloomberg が 2025 年 12 月 4 日(現地時間)に英語で発表を行ったプレスリリースを日本語に翻訳・再編集したものです。オリジナルのプレスリリースの正式言語は英語であり、この内容および解釈については下記の英語版が優先となります。英文オリジナルにつきましては[こちらの](#)サイトをご参照ください。

ブルームバーグ、日本語ニュースサイトを刷新

グローバル標準の機能性と日本に向けたユーザー体験

【ニューヨーク / 東京—2025 年 12 月 4 日】ブルームバーグは本日、日本語版ニュースサイトを全面的にリニューアルしました。新サイト（<https://www.bloomberg.com/jp>）は、ブルームバーグの英語版のグローバルサイトで採用している使いやすい機能やデザインを取り入れながら、日本のユーザー向けに最適化しています。

主なアップデート

- **ローカライズされた体験:** 日本の読者向けに最適化した UI/UX（ユーザーインターフェイス/ユーザーエクスペリエンス）をあらゆるデバイスに対応して提供します。
- **日本語コンテンツの拡充:** 日本語コンテンツを拡充し、マーケットやファイナンス、国際情勢に加え、テクノロジーや企業、経済政策など幅広い領域の動向を報道します。
- **見やすいレイアウト:** 最新ニュース、ブルームバーグ・オピニオン、主要な市場データ、ニュースレターの登録手順などが見やすいページに設計しています。
- **動画・マルチメディアの強化:** 字幕付きのニュース動画のほか、グラフィックやデータの可視化、ライブブログ、ブルームバーグ TV+、独自のリアルタイム・オンスクリーン・データフィード（Jバー）など、日本語によるマルチメディア配信を強化します。
- **特集コンテンツの充実:** 調査報道「Big Take」や経済の先を見通す「Bloomberg Businessweek」など、最先端を深掘りした独自コンテンツの翻訳編集を充実させます。
- **LINE ほかシェアも簡単:** 記事 1 本の読みやすさを向上させ、メッセージアプリ「LINE」をはじめ、各 SNS やメールで簡単に共有できるように対応しています。

今後もグローバル版で実装・計画している機能を日本版でも随時アップデート予定です。

ブルームバーグ・メディアのコメント

ブルームバーグ・メディアのプロダクト・グローバルヘッド、Merissa Zanetti-Crume は、次のように述べています。

「新しいニュースサイトは、日本の読者の皆さまのユーザーエクスペリエンスを最重視して刷新しました。デザインからレイアウト、機能性に至るまで徹底的に再構築し、より明確で魅力的なニュース閲覧体験を実現しました。同時に、ブルームバーグのグローバル版ニュースサイトとの一貫性も保っています。特に日本の読者の期待や好みに合わせてサイトをカスタマイズすることで、より直感的な操作が可能なプラットフォームが構築できるだけでなく、ブルームバーグが誇る世界水準のデータやインサイトを最も効果的な形で提供できます。今回のリニューアルによって、ブルームバーグにとって重要な読者市場である日本でのサービスを向上させ、影響力のある日本の投資家層とのつながりを強化し、ブルームバーグの卓越したグローバルニュース報道へのエンゲージメントを高める体験を提供できるようになりました」

リニューアルを主導するマネージングエディター、野上英文のコメント

今回のサイトリニューアルを主導するのは、ブルームバーグ・ニュースの日本デジタルリードを務めるマネージングエディターの野上英文です。NewsPicks や朝日新聞社などでのキャリアを通じ、幅広い報道経験を重ねてきました。ブルームバーグ入社後は、日本語ニュースサイトの刷新および新規読者開拓の戦略を主導してきました。ブルームバーグ東京ニュースルームの取材力とグローバルなマルチメディア機能を生かし、日本語コンテンツの配信量と多様性のさらなる強化に取り組んでまいります。こうした取り組みには、Apple をはじめとするテクノロジー業界担当記者の Mark Gurman によるニュースレター「Power On」の翻訳版のほか、日本語による解説・分析記事の拡充、ブルームバーグ TV とブルームバーグ・オリジナル動画の日本語字幕などが含まれます。

野上は、次のように述べています。

「ブルームバーグは、日本のニュース読者やビジネスリーダーの皆さまに向けて、複雑化する世界情勢を読み解くうえで不可欠な、タイムリーかつ信頼性の高い報道と分析の提供に尽力しています。世界経済の不確実性が高まるにつれ、国際的な動向とそれが国内に与える影響を結び付けて伝える信頼性の高いジャーナリズムの重要性は、かつてないほど高まっています。今回の日本語ニュースサイトの刷新は、そうしたニーズに応えるうえでの重要な節目となります。リニューアルによって、報道の内容とアウトプット形式の両面が強化されます。世界最高水準を誇るブルームバーグのビジネス・金融ジャーナリズムとデータへのより良いアクセスを、日本の読者の皆さまに提供してまいります」

日本市場への近年の投資と戦略的パートナーシップ

今回のウェブサイト刷新は、ブルームバーグが日本で近年行ってきた投資やパートナーシップに続く最新の取り組みです。1987年の東京オフィス開設以来、ブルームバーグは日本市場でマーケットデータやニュースを提供するリーディングカンパニーとしての地位を築いてきました。

主な投資先および戦略的パートナーシップには、以下が含まれます。

- **広範な取材体制を誇る現地拠点:** ブルームバーグは、国内でも最大級の規模を誇る国際報道拠点を東京に構えており、100名を超える記者とアナリストを擁しています。ブルームバーグターミナル、ブルームバーグTV、ウェブサイトやアプリを含むデジタルメディアなど複数のメディアプラットフォームを通じて、ニュースと分析を日本語で日々配信しています。
- **The Asia Trade:** 最新設備を備えたブルームバーグの東京スタジオから Shery Ahn が毎日お届けする、マーケット主導型のテレビ番組です。ブルームバーグの視聴者に対し、前日の海外市場のトップニュースや最新動向と、アジア市場の投資判断や取引に役立つ情報を提供しています。
- **TBS CROSS DIG with Bloomberg:** 2024年に開始されたブルームバーグ・メディアとTBSとの戦略的パートナーシップによるニュースサービスです。放送事業者が運営する日本最大のオンラインニュースサービスの一つであるTBS NEWS DIGの新しい共同ブランドセクションを通じて、ビジネスと金融の専門性の高いニュースを配信しています。この取り組みは、ブルームバーグにとって日本語コンテンツでのコラボレーションにおいて重要な節目となりました。

ウェブサイト刷新の一環として、ウェブサイトのアドレスを「Bloomberg.co.jp」から「Bloomberg.com/jp」に移行します。

ブルームバーグ・メディアについて

ブルームバーグ・メディアは、ビジネスと金融において世界有数のマルチプラットフォームメディア企業です。世界各地の100を超える支局に在籍する3000人以上の記者とアナリストのネットワークを基盤としています。ブルームバーグ・メディアは、ブルームバーグ・エル・ピーの消費者向けメディア組織です。